

かわじま

No. 127

令和元年10月25日

つばさ南小学校



つばさ北小学校



9月定例会 2~4

委員会の動き 5~6 一般質問 町の考えを問う 7~12



9月定例会
各議員の賛否

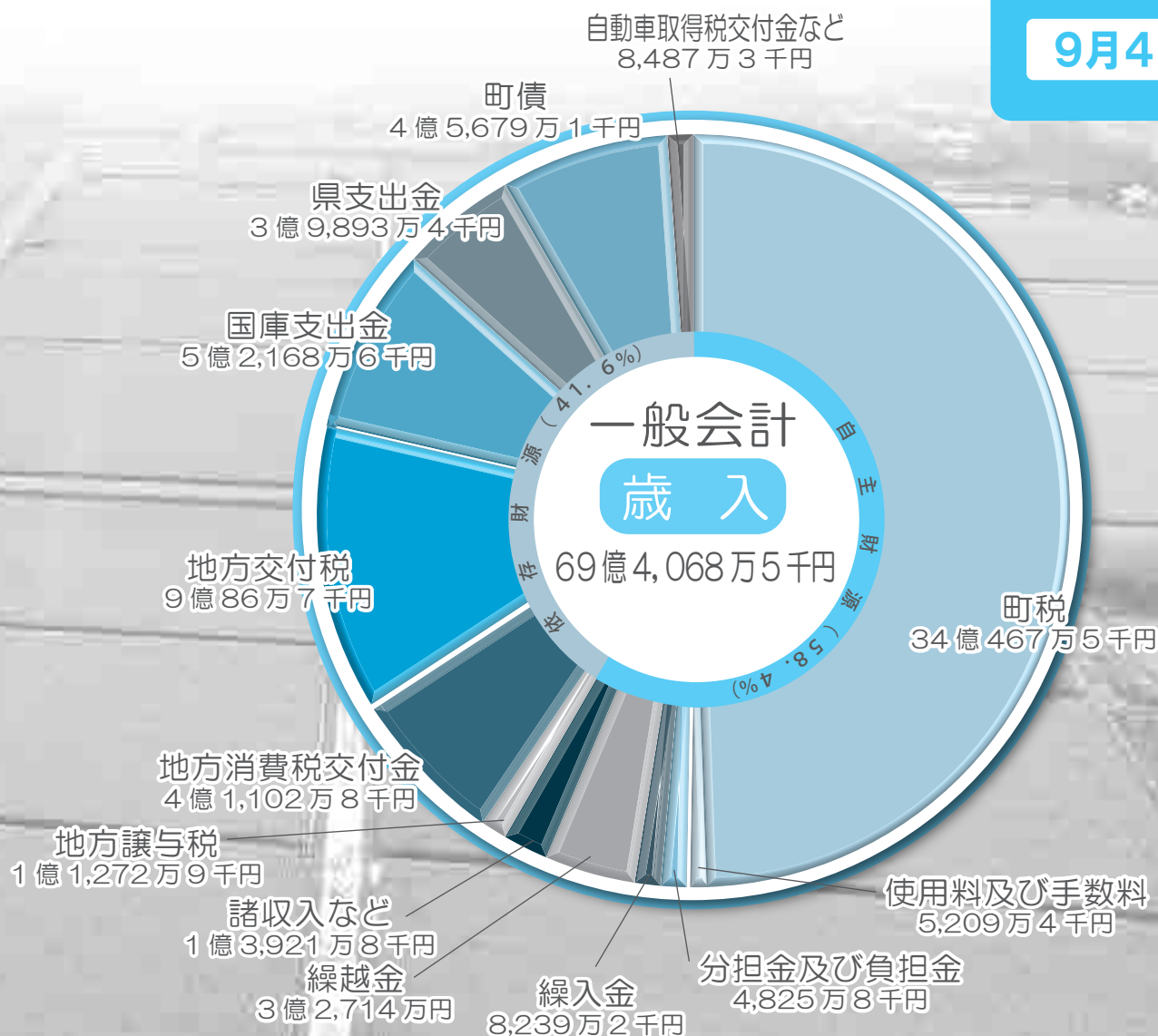


町のHP又は上記QRコードから

見据えた町づくりを

9月 定例会

9月4日～18日



監査委員の意見



代表監査委員 藤間 紀弘



監査委員 森田 敏男

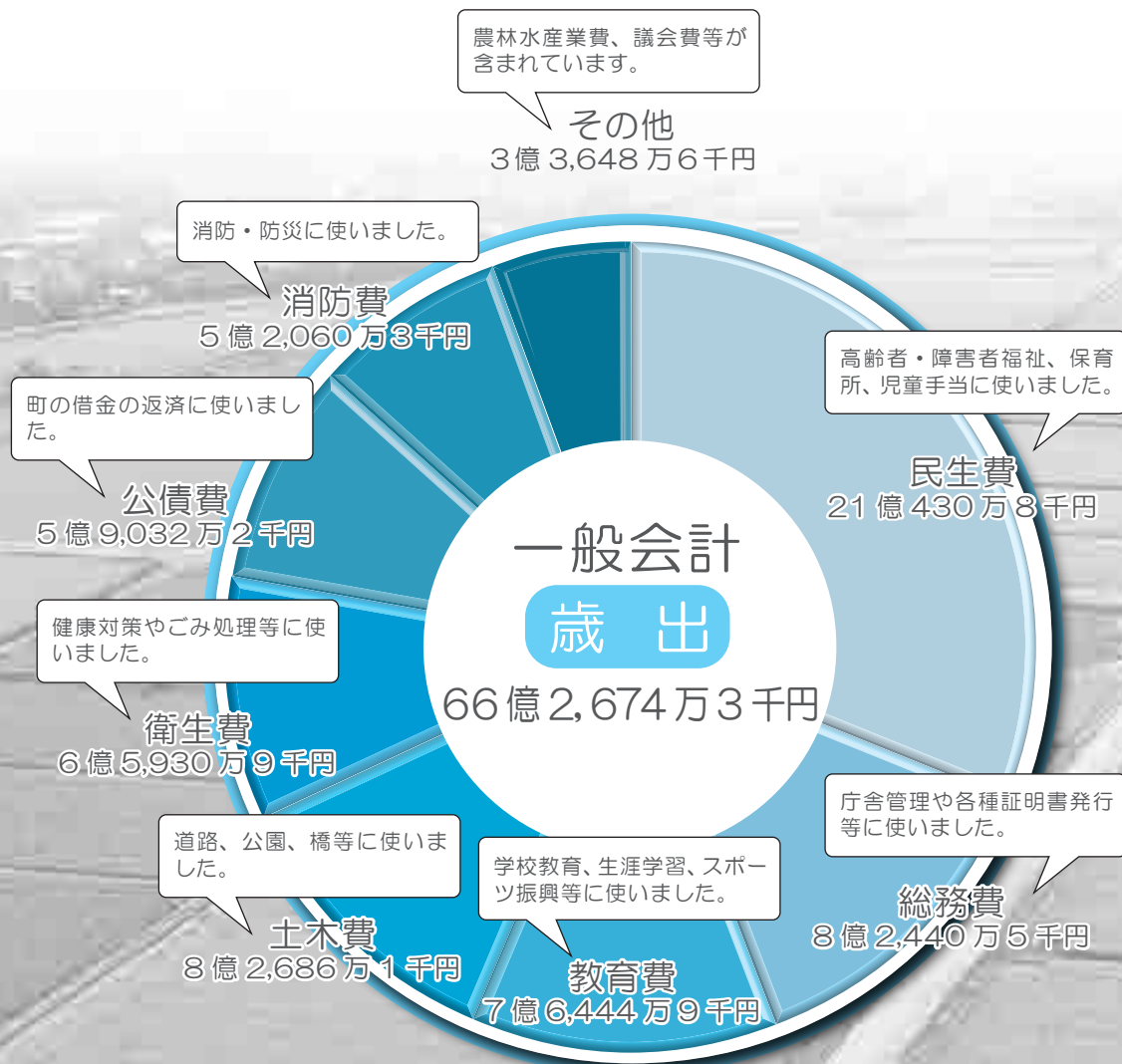
一般会計 決算審査意見書

平成30年度の一般会計歳入の決算状況は、総額69億4,069万円であり、前年度より1億120万

円増加しており、前年度対比101.48%でありました。

町税の収入済額は34億468万円で、前年度対比105.35%で、本年度の町税収入は好調な税収を確保することができ、加えて所管課の地道な努力により現年分の収納率が99.81%と前年を更に上回る高い徴収実績を維持し、健全な財政運営に大きく寄与しています。歳出は総額66億2,674万円で、前年度より1億1,439万円増加している。限られた財源のなかで、事業の選択と集中を行い、重点政策等に多く予算配分する一方、不用額が昨年度比83%に圧縮されており、効率的な予算執行と財政運営ができている。(決算審査意見書より抜粋)

健全な財政運営で 未来を



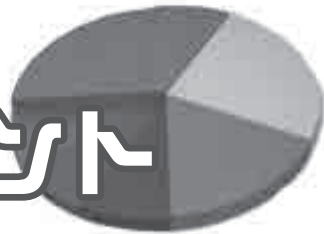
平成30年度一般会計決算 町民一人当たりの金額

※ 歳入・歳出それぞれ千円未満を四捨五入としてるため、実際の額と異なる場合があります。



一般会計の決算から見る

財政の 3 つのポイント



1

財政力指数 0.775

(昨年度比 0.018 増・県平均 0.786)

予算のうち、どれくらいを自前の税収で賄えているかを表します。この指数が高いほど財政力が強いことを示しており、1に近いほど財政に余裕があるとされています。

2

経常収支比率 86.9%

(昨年度比 2.5%増・県平均 93.9%)

人件費など毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多くなります。

3

実質公債費比率 4.6%

(昨年度比 0.6%増・県平均 4.8%)

一般会計が負担する借金返済費用の割合。数値が高いほどほかの事業にあてる財源を圧迫することになります。一般家庭に例えると世帯収入に対するその年のローン返済額の割合です。

＜ 特別会計・企業会計歳入歳出決算額 ＞

国民健康保険特別会計	
歳入	27 億 3,423 万 5 千円
歳出	25 億 4,991 万 8 千円

学校給食費計特別会計	
歳入	7,254 万 2 千円
歳出	7,231 万 0 千円

下水道事業特別会計	
歳入	4 億 4,193 万 7 千円
歳出	3 億 9,932 万 5 千円

介護保険特別会計	
歳入	17 億 2,871 万 8 千円
歳出	16 億 4,494 万 0 千円

後期高齢者医療特別会計	
歳入	2 億 22 万 8 千円
歳出	1 億 9,767 万 8 千円

水道事業会計	
●収益的収支	
歳入	4 億 5,481 万 4 千円
歳出	4 億 3,617 万 0 千円
●資本的収支	
歳入	4,152 万 6 千円
歳出	1 億 8,336 万 0 千円

監査委員の意見

代表監査委員 藤間 紀弘
監査委員 森田 敏男

公営企業会計 決算審査意見書

本年度の年間総配水量は約 2 7 6 万 m³で、每期減少し続け 2 6 年度の 8 8 %の水準にある。給水人口の減少や節水器具の普及等により、全体としての配水量の増加は考えられない。水道事業の採算性が確保されていない。

昨年度作成された『川島町水道事業経営戦略』においても基幹管路のダウンサイジングが検討されているが、管路のみならず設備全体のダウンサイジングが必要であろう。管路の耐震化の詳細な計画、設備全体の

ダウンサイジングと更新計画などが明確にされ、水道事業の健全な持続可能性と採算性の確保が高まることを期待したい。

また、有収率については、本年度 9 6 . 9 7 %で、前年度の 9 7 . 5 2 %と同様に良好な結果となり、地道な漏水対策等が奏功した結果として大いに評価したい。

しかし内部事務の効率化が停滞している。カード利用、スマホアプリの利用等による収納など、利用者の利便性の向上も今後積極的に導入すべき課題であるが、口座振替の利用率を向上させ、収納業務そのものを省力化することは喫緊の課題である。また原価管理を徹底し、水道事業の経営効率化に努力していただきたい。(監査意見書より抜粋)

総務経済建設常任委員会

会計年度任用職員

問 臨時職員が会計年度任用職員となるが、一般職の地方公務員となるのか。

答 一般職の地方公務員となります。フルタイム職員には給料、パートタイム職員には報酬を支給し、どちらも各種手当、期末手当及び交通費が支給されます。

都市計画法に基づく指定基準改正

問 都市計画法第34条11号の区域指定の説明会があり、新たに建物が建てやすくなる期待感があるが周知の方法は。

答 説明会などの意見を基に最終案を作成し、関係法令に基づく手続き終了後、ホームページや広報等で周知します。

地震洪水ハザードマップ

問 地震洪水ハザードマップ及び避難計画はどのようになっているのか。

答 県の市野川水系浸水想定図が来年度に公表予定ですので、国のものと併せ、今年度と来年度の2か年で避難計画も含め作成して参ります。

更なる町のPRに向けて



今年7月、委員会視察研修で兵庫県の福崎町、稲美町を訪れました。人口減少の中、埋没しないよう町民参加・住民協働で町を活性化しようと地域・団体等の自主的な活動支援、また農業の6次産業化にも積極的に取り組んでいました。我が町にも共通するところがあり参考になりました。

アライグマ等の状況

問 アライグマ等が大部増えているが推移は。またニホンジカの状況は。

答 アライグマの捕獲状況は、平成27年度98頭、28年度200頭、29年度146頭、30年度220頭、今年度は現在160頭です。鹿は、直近の8月は4頭の見撃情報があります。

ふるさと納税寄付金

問 ふるさと納税寄付金をクラウドファンディングの方法で募るとあるが、どのようなのか。

答 使途をきちんと提示した中で、ご支援をいただくものと認識しています。協賛していただけるような使い道を提示し寄付に繋げて参ります。

工事請負契約

問 飯島3号と飯島6号の雨水幹線工事は、2本とも伊草地区であり、経費を合算し工事費を削減する対象にならないか。

答 工事箇所は、直線距離でも1.5km以上離れ、また国道により分断されています。延長も長い大規模な工事であり、品質を確保するため、別工事としました。

文教厚生常任委員会

埼玉中部資源循環組合

問 組合解散の場合の町の対応は。

答 10年間使用できるように数年をかけて、施設の大規模改修をしていきたい。その間に他の市町村などの情報を集め研究していきます。

保育無償化

問 保育無償化による保育園の影響は。

答 保育料は全て無償になります。が副食費は対象外です。また、在宅保育については、国からの支援は示されてません。

プログラミング教育

問 つばさ北・つばさ南小学校にタブレットの導入の考えは。

答 来年度からプログラミング教育が必修になるので、全ての小学校にタブレットを整備していきます。

中山小学校 5 年生 外国語活動の視察



文教厚生常任委員会では、中山小学校5年1組の外国語活動を視察してきました。
現在、5、6年生は週2時間、3、4年生は週1時間の英語の時間があります。
ALT、担任、外国語支援員など4人の先生方と、月々日曜日の読み方や簡単な英会話を楽しみながら学んでいました。

環境センターの管理費

問 環境センターの維持管理にかかる総額と年額を出してほしい。

答 今年度につきましては約1億9千万円の予算を計上します。大規模改修を行う年度については、約3～4億円かかる見込みです。

食物アレルギーへの対策

問 アレルギーを持つ児童への対応や現状は。

答 事前にアレルギー物質を含んでいる内容の献立を通知し、お弁当の持参を許可します。また、エピペン^{※1}の使用等の重篤な症状や事故は起こっておりません。

児童遊園地の整備

問 子どもの遊び場整備事業補助金で整備した児童遊園地は。

答 伊草の中廊地区で2か所と安塚地区、小見野の友二地区の計4か所を整備しました。主な内容は遊具の塗装のやり直しや、砂場の撤去、柵の修繕です。

※1…エピペンとは「ハチ刺傷」「食物アレルギー」などによるアナフィラキシーに対する医薬品です。

町の考えを問う

町政一般質問要旨 9月13日、17日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

稲村 美代子 議員	1 福祉総合相談窓口等について 2 特殊詐欺について
矢内 秀憲 議員	1 防災行政について 2 地域学校協働活動について
渋谷 幸司 議員	1 水害対策について 2 学校給食費の無償化について
道祖士 証 議員	1 当町のスポーツ環境及びスポーツ振興について 2 県道日高川島線とその周辺整備について
柴田 一典 議員	1 地域で一部管理している用排水路等の整備について 2 中学校における外部指導者の充実について
粕谷 克己 議員	1 鳥獣被害対策について 2 人口減少対策について 3 水道水の低圧対策等について
加藤 進 議員	1 平沼中老袋線の拡張について 2 堤防や道路肩の草刈りについて 3 幼児教育、保育の無償化に伴う川島町への影響について
小峯 松治 議員	1 都市計画税について 2 体育館の冷房化について
菊地 敏昭 議員	1 町の事業計画について 2 町の公式ホームページについて 3 通学路の安全確保について
新井 悦子 議員	1 AEDの更なる普及拡大で安心・安全のまちづくりについて 2 防災対策について

（福祉総合相談窓口等について）

問 福祉総合相談窓口が保健センター内に設置されて約半年近く経ちますが、相談人数は。

答 本年1月から7月末までで381名です。9割が電話によるもので、高齢者福祉に関する相談が一番多くなっております。

問 相談内容により、適切な部署へつなげていくとのことですが、その後のサポート体制は。

答 専門機関への情報提供だけでなく、共同で関わっています。

問 最近では、親が80代、ひきこもりの子供が50代で生活困窮に落ちている「8050問題」が指摘されています。ひきこもりの当事者はなかなかSOSを出せずに孤立してしまいがちですが、行政側が積極的に手を差し伸べるのが重要です。町の考えは。

答 ケアマネージャー、民生委員から情報を受け、社協、健康福祉課が連携して対応しています。若い人たちの情報が入りやすい体制も引き続き検討し

問

福祉総合相談窓口の

サポート体制は。

答

専門機関と社協の共同で

行っています。

ていきます。

（特殊詐欺について）

問 オレオレ詐欺、還付金詐欺等の特殊詐欺の撃退方法は、電話に出ないことが有効だそうですが、町としての対策は。

答 町民から東松山警察への通報は、平成30年度は158件ありました。町では、かわべえメール、チラシ、HP等で注意喚起しています。今後も、東松山警察と連携して、特殊詐欺対策の取り組みを考えていきます。



福祉総合相談窓口



稲村 いなむら

美代子 みよこ

問

中央防災基地に援助隊の進出拠点追加を。

答

県と協議したいと考えます。

問 当町に設けられている埼玉

県中央防災基地は、主に物資の集配設備であります。8年前の東日本大震災のときの宮城県のHPでは「全国から消防や警察、自衛隊が基地に集まったが、滞在できる拠点が十分ではなく、迅速に人員を投入できなかった」とありました。我が埼玉県や川島町にとっても他人事ではありません。被災地になった時や被災地への支援に発する時に援助隊員が集まる場所（進出拠点）ができていません。これでは、有事の際には不十分です。そこで、中央防災基地に、この進出拠点の必要性の考えは。

答 現在は、備蓄倉庫としての機能であり、現状では、今の施設自体も、人が集まって滞在できるようなにはなっていません。

しかし、埼玉県内最大級の防災基地のある所在町でもあることから、今後は中央防災基地に進出拠点を備えることが可能か協議したいと考えます。

問 先日（9月1日）に実施された



中央防災基地に新たな機能追加が望まれます。

答 小・中学生の防災意識向上は大変に必要なことと考えております。今後の防災訓練につきましては、小・中学生の訓練種目を含めて考えてまいります。

「町防災訓練」は有意義でしたが、小・中学生の参加も必要と思うかどうか。実は、8月にボランティア団体の「子ども防災キャンプ」が実施されている。中学生は特に、地域や防災に意識を持ち始める年齢です。次からは是非とも参加の機会を



問

ライフジャケットの購入補助は。

答

自主防災組織で購入して下さい。

問 九州地方で梅雨前線の停滞

による記録的な大雨が降り死者も出てしまいました。町の水害に対する考えと、次の2点について。

①今年改訂予定のハザードマップと避難計画作成事業の進捗状況②避難時のライフジャケットについて

答 九州では記録的な大雨で、各地域で甚大な被害が発生しました。町としては減災対策に取り組んでいきます。ハザードマップ・避難計画作成が遅れていますが、その間にも、出来ることを取り組んで行きます。災害時には自主防災組織、地域のみなさんの協力が必要です。命を守る行動がとれるよう情報発信に努め、まずは、町外への避難行動をしてもらいたい。

ハザードマップの改訂は、県の市野川水系浸水予想の公表が遅れているために、避難計画作成事業と共に来年度になります。ライフジャケット購入は、自主防災組織への補助額上限が5千円



ライフジャケットは自主防災組織で購入が可能

問 子育て支援・少子化対策・貧困対策などとして、学校給食費を完全無償化や一部補助をする自治体が増えていきます。給食費の無償化について町の考えは。

答 給食費の無償化や補助については、町の財政状況や受益者負担の原則から実施は難しい。教育の質を向上させて、教育で選ばれる町にしていきたい。



問 温水プールの設置やドーム球場の建設などスポーツ施設の充実の考えは。

答 可能であれば、他市町村、住民にも誇れるスポーツ施設は是非とも実現したいが、近年の少子高齢化や人口減少などの社会現象の変化や町のとりまく環境、施設の整備費、維持管理費などを考慮すると大変厳しい。

問 鹿嶋市では総合型地域スポーツクラブが指定管理を受け学校の授業に専門指導者が技術指導し先生は児童生徒の安全を見守っていた。先生にとっても良いし、1年中使用できるので、費用対効果を考えた時に温水プールの建設をすべきと鹿嶋市の教育委員会の方も言っていたが。

答 近隣に公共の温水プールや民間の施設がある本町と、鹿嶋市では周辺の状況も若干違います。

問 平成の森公園多目的広場の人工芝と全天候性トラック整備の考えは。

問 全天候性トラック整備の考えは。

答

平成の森公園

リニューアル時に検討！



設置が望まれる温水プール

答 平成の森公園のリニューアルの検討に合わせて研究します。

問 鈴木聞多氏、宇津木妙子氏の今後の町の対応について。

答 オリンピックで活躍した郷土の先達について、学校の教育活動などで計画的に取り上げていくよう検討します。

問 総合型地域スポーツクラブの設立時期は。

答 来年3月の設立を目指したいと考えています。

問 スポーツ施設充実目的のふるさと納税の考えは。

答 財源を税収だけでなく、ふるさと納税やクラウドファンディングの利用も考えています。

問 近年、生徒や先生の減少から部活動の数の減少と未経験者による顧問の先生が増えている。

また、町内ではボランティアの指導のもと、小学生を対象としたクラブの種目でさえ、中学校で選択できない現状があります。一方、学校で働く教職員の一日の平均勤務時間は11時間を超えています。これらを解決するには、大学などの教育機関と指導者派遣の連携を図ったり、現在の外部指導者の報酬、交通費込1500円を改善するなど、早急に対応していく必要があると思われるが。

答 大学などと連携を図ることは、大変重要な指摘でありますので、方法について検討していきます。

外部指導者の報酬については、課題があると受けとめています。また、部活数をすぐに増やすのは難しい状況ですが、総合型地域スポーツクラブの設立を予定している中で、その中で指導していくことを考えていきます。

問

外部指導者を含む中学校の部活動の充実を。

答

大学等との連携や総合型地域スポーツクラブの中で。



望まれる中学校における外部指導者の充実

問 用排水路の藻刈りなどの管理については、現在、町内51の地域で慣習として行われていて、防犯や防災などの面から有意義なものと考えられます。しかし高齢化などにより、川に入っの作業などは厳しく、継続するのが難しいとの声が寄せられています。そこで管理しやすい三面柵渠等の整備を優先的に対応できないか。

答 計画的な整備を進めるとともに、農政産業課と連携を図り、多面的機能交付金の活用等地域の負担軽減となるような方法を早急に研究してまいります。

問 ニホンジカの農業被害対策は。

答 補正予算を計上し、捕獲に向けた準備をしています。

問 農業被害を軽減するため電気柵設置費の助成ができないか。
答 JAの被害防止対策促進助成制度の活用に向けた周知を図ります。町の助成制度は近隣市町村の状況を確認し研究してまいります。

問 国の荒川太郎右衛門地区自然再生事業が進むなか堤外地の荒廃地化が課題となっている。国にも働きかけ営農環境の保全ができないか。

答 有害鳥獣の繁殖も危惧され、営農環境を保全するためには適切な維持管理が必要と考えます。関係機関とも連携し、国にも働きかけていきます。

問 人口減少対策の検証と実効性ある施策展開は。

答 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向け、効果検証を行ってまいります。

問 移住人口を確保するため、空き家バンク制度に助成制度を設ける自治体も多いが取組む考えはあるのか。

答 移住促進に結びつけるため助



ニホンジカによる農作物被害が増え対策が必要になっている（白山沼付近）



粕谷 克己
かす や かつ み

成制度を設ける事例は承知しています。今後課題を整理し研究してまいります。
問 口径13ミリの水道管が布設されている地域もあり、低圧対策が必要であると考えるが。

答 民地に布設された給水管の解消に努めることとしており、町内全域で配水量と水圧等を確認する調査を実施し、調査結果を踏まえ対応してまいります。

問 待機児童ゼロは継続できるか。

答 継続できるよう取り組んで行きます。

問 平沼・中老袋線の拡幅は。
答 荒川上流河川事務所及び県道を管轄している埼玉県に拡幅の要望を行ってまいります。
問 平沼・中老袋線線南側水路の改修は。

答 平成30年度出丸地区各区長より要望を受け、東松山県土整備事務所地域に要望書として提出しております。雑草の繁殖については、埼玉県とも連携して安全・安心な道路環境の維持に努めてまいります。

問 堤防や道路肩の草刈りについて農家に委託しての実施は出来ないのか。

答 他の市町村等では農家に委託している事例はないが、今後検討してまいります。

問 多面的機能交付金事業での、実施はできないのか。

答 地域で活動組織を立ち上げ、農地に隣接している農道や水路の草刈りはできます。

問 待機児童ゼロは町の重要施策ですが、継続できるのか。
答 今後につきましても、町内の



草木が繁茂して走行しづらい道（樋結周辺）



加藤 進
か とう すむ

民間施設あるいは町外の私立保育園、町内の私立幼稚園等の調整をしっかりと行って、待機児童ゼロに向け対応していきたいと考えております。
※詳細は、川島町のホームページ及び動画配信を閲覧して下さい。

問 体育館の冷房化は。

問 市街化区域は、街路整備、都市環境整備など魅力あるまちづくりが必要です。しかし、狭い道路、未整備の排水路等も多く課題があり、定住促進・転入促進を図っていくため整備充実が一層必要です。予算の厳しい状況の中、市街化区域の整備だけに使う都市計画税についての見解は。

答 新たな財源の確保という観点の議論をしておりますが、受益者負担の公平性など多角的に研究して参ります。

問 下水道事業会計に、毎年一般会計から2億円を超える金額を支出している。使用料も少子高齢化により減少傾向にある。区域内の人口増加を図っていく必要があるのではないか。どのように考えているのか。

答 下水道事業系の課題として受け止め、経営戦略を策定し経営改善に取り組んでいます。下水道事業を含め、都市計画税については地域特性、必要性等含め多角的に研究して参ります。

答 前向きな方向で、考えていきたい。



冷房化が望まれる体育館

問 地球温暖化の影響により近年猛暑が続き、体育館での子ども達の授業、また公民館主催の球技大会等、大変な暑さの中行っている。また体育館は災害時の避難場所にもなっているのので、二次災害を防ぐためにも冷房化が必要と思うが。

答 近年の猛暑による学校運営への影響や、体育館が災害対策等の重要な拠点及び避難所機能の充実という点から、前向きな方向で考えていきます。

問 町の公共施設等総合管理計画は。

問 町の事業計画は、今現在で何本策定されているか。

答 全部で47です。川島町総合振興計画を最上位計画とし、法律による計画と任意で策定する計画があり、各担当課は計画に基づいて事業を実施し、進捗管理を行っています。

問 町の公共施設等総合管理は

答 平成28年8月に策定された公共施設等管理計画では平成28年から令和37年度までの40年間で延床面積30%を削減する計画です。

今年度から来年度にかけ個別施設計画を策定し一元的管理を進めてまいります。

問 町のホームページのバナー広告と、お役に立ちましたかの問い合わせ状況は。

答 バナー広告は6件で昨年度の収入は12万円です。又、平成29年度は月平均で2万6千アクセス、平成30は約2万9千アクセス、今年は約3万4千アクセスをいただいております。バナー広告収入の増加に努めてまいります。

答 一元的管理を進めてまいります。



どうする八幡汚水処理場

問 通学路の安全確保について、つばさ北小学校の東通路の拡幅歩道整備、待避場所の拡張の予定は。スクールバスの運行は。

答 車輛同士のすれ違いも難しいことから、平成30年度に物件補償及び用地買収し今年8月に入札をし今年度内に工事完了予定です。

学校側待避場所を広くとり、児童の安全確保のために、学校側とよく調整をしております。登下校は毎日のことですので児童の安全を第一にバス事業者と情報共有してまいります。

問 障がい者のための
防災ハンドブックは。

答 関係団体と早急に
意見交換します。

問 防災対策で、ハンディがある方々が見て分かり易い、防災ハンドブックの作成は。

答 取手市や久喜市がガイドブックをマニュアル化しているので、参考にしながら、関係団体と早急に意見交換をします。

問 被災者支援システムは災害時パソコン一つで立ち上げられ、即急に罹災証明書等発行できます。導入についての考えは。

答 自然災害が多発する中、被災者支援を迅速かつ的確に復旧・復興作業を行うことが重要ですが、セキュリティ対策などシステム上の課題を整理する必要があります。

問 災害備蓄品に液体ミルクを入れることは。

答 倉庫備蓄品のため、高温備蓄が可能かどうか調査します。

問 家族としてのペットが避難する場合の対応は。

答 避難所にペットフードなどの備蓄品と飼育専用スペースを考えます。

問 AEDの設置場所と24時間体制



新井悦子
あら い えつ こ

や救命講習会の取り組みは。

答 町では、28台管理しており、消防署等の施設に6カ所設置。24時間体制は役場と消防署の2カ所です。

普通救命講習会ですが、町主催の講習会は年一回、川越地区消防組合では毎月実施しています。

問 AEDを屋外設置やコンビニ設置の考えは。

答 更新時期に合わせ検討します。



誰一人もとり残さない障がい者のための
ハンドブック

議会運営委員会所管事務調査

所管事務調査を次のとおり行います。詳しい内容については次号で報告いたします。

日程 令和元年11月7日(木)～8日(金)

視察場所 (1) 場所／群馬県吉岡町

日時／11月7日(木) 午前10時～

(2) 場所／栃木県益子町

日時／11月8日(金) 午前10時～

視察内容

・議会の活性化について

・こども議会について

吉岡町の概要 (2019年9月1日現在)

人口	21,585人
面積	20.46km ²
世帯数	8,116戸

益子町の概要 (2019年9月1日現在)

人口	22,150人
面積	89.40km ²
世帯数	7,894戸

栃木県



群馬県



川越地区消防
組合議会道祖土 証
菊地 敏昭
小峯 松治

令和元年6月28日に川越地区消防組合議会が午後1時に開会されました。

川越地区消防組合議長に桐野忠議員、副議長に菊地敏昭議員が選出されました。提案された議案は、

議案第6号 川越地区消防組合手数料条例の一部を改正する条例を定める事について。令和元年10月1日より消費税・地方消費税の引き上げに伴い手数料の額を改正するものです。【原案可決】

議案第7号 はしご付消防自動車の取得について、19年4か月が経過し老朽化しており、入札の結果2億27万6千円で契約するものです。【原案可決】

議案第8号 高規格救急自動車の取得について、平成25年1月15日に購入し19万3千kmを走って著しく老朽化しており、入札の結果1863万円で契約するものです。【原案可決】

同意第1号 監査委員については、小野澤康弘議員が選任同意されました。

日程追加は、消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会が継続設置となり、特別委員長に柿田有一議員、副委員長に小峯松治議員が選出されました。午後3時13分に閉会されました。
(菊地)

埼玉中部資源循環
組合議会為水 順二
小高 春雄

令和元年8月9日（金）吉見町議場において開催されました、埼玉中部資源循環組合議会定例会の報告を致します。

管理者の行政報告で本年3月26日に建設予定地の都市計画変更決定が告示され、同日環境影響評価の公告・縦覧も行われたとの報告がありました。

また、裁判関係では4月24日付けで新たに、行政文書非公開処分取り消し請求事件が提訴されたとのことでした。

上程された、議案は議案第6号「埼玉中部資源循環組合職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正」、議案第7号「令和元年度一般会計補正予算」、議案第8号「平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定」、議案第9号「埼玉中部資源循環組合監査委員の選任」の計4件で採決の結果全ての議案が原案どおり議決されました。

管理者閉会のあいさつでは、管理者の職を辞したい旨の発言があり、午前11時58分に閉会されました。
(小高)

比企広域市町村圏
組合議会為水 順二
石川 征郎

令和元年第3回比企広域市町村圏組合議会定例会の報告は次の通りです。

今回提案された議案は、人事1件、請負契約の締結1件、条例改正2件、補正予算1件、決算議案5件でありました。主な案件は、議案20号、東松山斎場、火葬炉設備工事を金額3億1524万円で、富士建設工業株式会社に決定した旨の件、議案30号、平成30年度斎場及び霊柩自動車、特別会計歳入歳出決算書は、収入済額2億5954万円、支出済額2億2197万円です。歳入の主なもの、分担金及び負担金7200万円使用料及び手数料6710万円、前年度繰越金1511万円、歳出の主なもの、斎場管理費2億1781万円、斎場整備と斎場施設整備基金です。

議案31号は、介護認定及び障害支援区分審査会特別会計、議案32号は公平委員会特別会計でありました。富永監査委員より監査報告が行われた後、審査に入り採決の結果、全ての議案は全員賛成をもって、可決、認定されました。

(石川)

総務経済建設常任委員会 所管事務調査

・町民参加のまちづくりと6次産業化の
取り組みについて
・住民協働でつくる自立した町づくりについて

令和元年7月11日（木）

兵庫県
福崎町

7月12日（金）

兵庫県
福崎町
稲美町

町民参加のまちづくりと6次産業化
の取り組みについて

福崎町では、自立（律）の心を育
て参画と協働のまちづくりを推進す
るため、①「科学の心で知を力にした
まちづくり」、②「もてなしの心で共
に生きるまちづくり」、③「食育で健
康なまちづくり」、④「地産地消で活
力を育てるまちづくり」を4本の柱
として町政を継承・発展させていま
す。その中で、特徴的な施策として、

平成25年度から「自立（律）のまち
づくり交付金事業」を行っています。
これは、自治会が取り組む「まちづ
くり・地域活動」に助成するもので、



稲美町での研修

よりよい集落をつくることを目的に
しています。

平成31年度は、町内33自治会のう
ち31自治会が取り組みを実施し、環
境の保全や美化活動、防犯・防災活
動、伝統文化の継承等の事業が行わ
れました。今後3年間で地域の人で
しか発見できないような地域資源等
の情報を収集するため話し合いを依
頼しているとのことでした。

また、6次産業化商品として地元
特産品「もち麦」を核としたまちづ
くりを行っています。もち麦は、も
ち性のもちもちとした食感が人気で、
また食物繊維が白米の20倍以上、β
グルカンを多く含み、糖尿病予防、
コレステロールの低減、便秘の解消
等健康に良い食品として注目を集め
ています。注目度がアップしたのは、
平成25年4月NHKの番組で紹介さ
れてからのことです。

現在では、もち麦茶やかきもち、
ドレッシングなど多数の商品が6次
産業化により開発されています。

住民協働でつくる自立した町づくり
について

稲美町についてですが、町名の「稲
美」にふさわしい田園豊かな町で、

コシヒカリをブランド化した「万葉
の香り」や「いなみ野メロン」、「い
なみトマト」など町内の優良な農作
物や加工品を「稲美ブランド」とし
て認証し普及、拡大を行っています。

稲見町では、地域やまちを元気に
する自発的な活動に取り組む住民団
体等を支援する「まちづくり活動サ
ポート事業」を実施しています。対
象は、まちづくりに貢献する公益的
な事業で、一団体につき年額10万円
を限度額として支給し、3回まで支
給されます。今までの実績としては、
平成24年度から現在の8年間で37団
体が交付を受けおり、実施された主
な事業としては、農地を有効利用し
た収穫祭の実施や婚活イベント、健
康増進事業等が多く開催されていま
す。

今年度から、過去3回の補助を受
けた住民団体等の活動で他団体への
波及効果や相乗効果が期待できるな
ど、一定の要件を設けて継続事業で
も支援を行うことで、住民協働のま
ちづくりをさらに進めるとしていま
す。

所管事務調査を終えて

委員長 小峯 松治

川島町でも、まちづくり交付
金事業等により、地域で自主的・
自発的に検討協議する場を設け
ることで地域のコミュニティ活
動の活性化や協調性が醸成さ
れ、町の活性化にも繋がる一つ
の方法ではないかと考えます。

また、6次産業化については、
付加価値を高めた6次産業化商
品の開発や販売販路の拡大など
の取り組みが必要であると考え
ます。

近年、全国的に人口減少が進
む中、我が町においても同じ状
況にあり、地域の活性化、自立
したまちづくりが重要となってい
ます。今回、川島町と同規模の
福崎町と稲美町を調査してきま
したが、両町とも地域の活性化
に力を入れ、地域が元気になる
ことにより、町が活性化される
この思いでした。

文教厚生常任委員会 所管事務調査

・小中一貫教育について ・総合型地域スポーツクラブについて

令和元年7月3日(水) 茨城県
つくば市

7月4日(木) 茨城県
鹿島市

小中一貫教育について

つくば市では、「子どもの教育の連続性の保証」を実現するべく、市内全学校で小中一貫教育を実施しています。

また、同市では小中一貫教育の目標として、(1)9年間の教育をとおして身に付けさせたい力・目指す子ども像の共有化・系統化(2)教育指導の連続性、持続性による個に応じたきめ細かな教育の推進

(3)9か年を見とおした弾力的・効果的な教育課程の編成(4)教科の専門性を生かした小学校第5・6学年への教科担任制の導入(5)発達段階を考慮した弾力的な生活集団、学習集団の再構築の5つの目標を掲げ取り組んでいます。

具体的な取り組みとしては、中学校教員がチームティーチング授業を行うことで、小学校でも専門的な授業が受けられる「中学校教員による小学校での乗り入れ授業」や学園内の小学校同士が授業交流を行うことで、学習内容を共有化する「小・小交流授業」、実技をともなう授業において、中学生が小

学生へ技術指導を行うことで、小学生にとっては技術の向上、中学生にとっては教えることで技術を定着させる「小・中交流授業」やテレビ会議を使った合同学習・教員間の打ち合わせ等を行っております。児童生徒の発達段階にあつた指導と教科専門性を生かした個に応じた指導を行っていくことで、豊かな社会力を育み、社会で活かせる知力を育成しています。

総合型地域スポーツクラブについて

鹿嶋市では、市民のニーズ調査が起点となり、スポーツを通じて地域・家族の繋がりを深めていくように、平成13年度に茨城県内で初めてとなる、総合型地域スポーツクラブを設立しました。

「かしまスポーツクラブ」では指導者を配置してスポーツをする場所を提供する「エリアサービス業」や初心者から経験者を対象とした「スポーツ教室事業」、指導者育成のための普通救命講習会やAED講習会、スポーツコーディネーター養成講座や指導者の資質を向上させる「指導者育成事業」等を実

施しています。

そのなかでも、「エリアサービス業」は同クラブの柱事業としており、テニス、バドミントン、バレーボール、卓球など知名度の高いスポーツから、ショートテニス、ラージボール、ユニカール等のマイナースポーツや支援学級の子どもを対象にしたスポーツなど、個々にあつたスポーツが選択できるように子どもから高齢者まで幅広い年齢層に合わせたスポーツを展開しており、子どもの体力の向上や健康寿命が延伸されていると感じました。



鹿嶋市での研修

所管事務調査を終えて

委員長 道祖土 証

川島町でも中一ギャップによる不登校児童生徒の増加や児童数の減少による人間関係の希薄化等が問題視されているなかで、小中一貫教育は大変重要な課題の一つでもあり、早期実現していただきたいと考えます。

また、総合型地域スポーツクラブを設立することは子どもたちのスポーツの選択制を広げ、高齢者の健康寿命の延伸やスポーツを通じて地域のつながりを深めていくものだと思いますので、本町でも総合型地域スポーツクラブの設置に向けて研究を進めていただきたいと考えます。

議会日誌

8月

- 8日 議会全員協議会
- 20日 議会全員協議会
- 27日 安藤川・横塚川改修整備
促進の要望活動
- 28日 議会運営委員会
議会全員協議会

9月

- 1日 川島町防災訓練
- 4日～18日 9月定例会
- 18日 議会報編集委員会
- 21日 伊草・つばさ北・つばさ南
小学校運動会

10月

- 1日 議会報編集委員会
- 5日 中山小学校運動会
- 11日 議会全員協議会
議会報編集委員会
- 13日 町民体育祭 (中止)
- 17日 埼玉県町村議会議員研修会

川島町議会 インターネット録画配信のご案内



今年度より、町のホームページにて本会議の様子を録画配信しております。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



(町のHP又は右記のQRコードから→)

表紙解説

令和元年つばさ南小学校区及びつばさ北小学校区運動会は、雨の心配をよそに全種目実施することができました。

校庭に吊るされたてるてる坊主、子供たちの思いが通じたようです。

表紙の写真は、つばさ南小の「綱引き」とつばさ北小の「組体操」です。子供たちは一生懸命競技に汗を流し、対抗種目では声を張り上げての応援合戦です。真剣な表情に感動しました。

プログラムには地域の皆さんが児童と一緒に川島郷歌等を踊る交流の場も用意され、新たな小学校区での取り組みが随所に見られました。校区運動会が忘れられない思い出になることを願ってやみません。

(写真/小学校提供・文章/粕谷)

議会を傍聴しませんか

議案審議

一般質問

11/29 (金) 12/4 (水) ~ 5 (木)
12月定例会は11/29～12/6の予定です。

編集後記

自然災害は「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火などの異常な自然現象により生ずる被害」と法令上では定義されています。日本列島で毎年のように起きている被災状況では、後段部分は「常に起こり得る自然現象により生ずる被害」の方がふさわしいのではないかとさえ思えます。

そんな中、江戸川区では、大規模な水害時に、区のほとんどが水没してしまうことから、とにかく区外の安全な場所に、それぞれが自主的に避難してもらえよう、ハザードマップが作成されました。我が町でも、大規模な水害時の町外の避難場所を、それぞれが知人や親戚宅なども含め、考える時に来ているのではないのでしょうか。

(柴田)

議会報編集委員会

委員長 新井悦子
副委員長 渋谷幸典
委員 柴田一幸
委員 粕谷克己
相談役 加藤秀憲
相談役 矢野進二